



こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース N0155号 2023年1月27日
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

謹賀新年

今年はCU東京結成15周年

全都に支部、「駆け込み寺」を確立しよう



地域に根ざして、地歩築く

CU東京は2023年を、実増を勝ち取り1667人の最高の峰で迎えました。秋の拡大は76人の新しい組合員を増やし、全支部が成果を上げ、6支部が達成しました。けん引したあだち支部は念願の100人の支部になりました。

CUは三桁以上の支部が7支部になり、半分を占めることになりました。地域に根ざし地歩を築いてきたと言えます。

さまざまな課題が山積しています。要求も寄せられています。2023年、労働組合の「権利」と「力」を発揮し、切り開いていきましょう。

2023年のスタート

CU本部執行委員長 佐藤義見



組合員、家族の皆さん! 2023年がスタートしました。昨年は、組織拡大、労働相談、各地域での運動などご奮闘いただきました。

今年もCU東京結成15年を迎えます。課題もあり経験もあり希望もあるそんな一年になるうかと思いますが、組合員の皆さんと共に15年目の新しい景色を見るために執行委員一同前進してまいります。

<新年にあたって>

東京地評議長 矢吹 義則さん



CU東京、組合員のみなさん、新年明けましておめでとうございます。

ここ数年世界規模でインフレが加速し

ています。これまで30年以上物価が動かなかった日本でも、輸入物価の上昇や円安等の影響を受けて、消費者物価指数も上昇し、労働者の暮らしは、日々厳しさを増しています。

消費税は10%に増え、その一方で、大企業の法人税は減税が繰り返され、内部留保は過去最高、富裕層の資産は7兆円から26兆円と増えています。こんな理不尽をただし、公平で公正な税負担を求めましょう。

23春闘で地域・単産が一体となった大幅賃上げ、組織拡大をめざしましょう。

貴組合が労働者の切実な要求を実現させるために、日々、組織拡大を進めていることに励まされています。さらなる飛躍を期待します。

<支部の動き>

CUあだち 念願の組合員 100人に到達

昨年11月から12か月の2か月間200人の組織拡大し1700人のCU東京をめざす運動を呼びかけました。あだち支部は呼びかけに応じて、準備期間の10月から要求実現の取り組みと合わせ組織拡大の重要性と年内に念願の100人の組合にすることを執行委員会で確認し全力をあげて取り組みました。

同時に、「雇止め撤回を要求」、「不当労働行為を許すな」の取り組み等外の団交事案

とあわせて取り組みました。助走で準備し、11月に5人、12月に5人を訴え抜き組織することができました。

今度の組織拡大では一部の人の取り組みでなく、警備員の仲間は要求運動の中で組合員を増やしました。執行委員が友人、家族を含め増やしました。相談者も組織しました。地域労働運動を前進させる展望をもって、みんなで力を合せると、楽しくやれることがわかりました。

(CUあだち書記長 高島 章寿)

<東京地評> 生活実態調査型 フードバンク 「ホッとねんまつ おこめフードバンク」 CU東京もインタビューで協力

東京地評は2022年12月26日(月)16:30~19:00、東京労働会館内で生活実態調査型フードバンク「ホッとねんまつ おこめフードバンク」を開催しました。

会場には69人が来場(当日66人、後日取り置き3人)し、うち44人がインタビューに協力しました。来場者全員に、白米260キロ、りんご50キロ、みかん50キロをはじめ、「小豆沢・志村フードバンクの会」からの寄付品を配布しました。ご協力いただいた東京地評加盟組織や協力団体の皆さまに心から感謝いたします。

事前申し込みを兼ねたアンケートには102人が回答しました。回答者の85%が女性で、全体の44%が40代でした。50代は24%、30代は23%でした。「あなたは、2023年春闘でいくらの賃上げを要求しますか?」の問いには、「5万円」が一番高く、賃上げ要求額の平均は37,763円となりました。これは、国民春闘共闘が23春闘統一要求として目指す「月3万円以上の賃上げ」と一致していることから、組織労働者も未組織労働者も、賃上げ要求額は同じであることがわかります。



また、今回の企画は、東京地評Twitter 投下、フードバンクキャラバン（学生ユニオンが事務局）メーリングリストへのメール送信、文京区内の子ども食堂LINE グループへの投稿や豊島社協への要請などに情報発信。回答者にとってフードバンクが生活の一部となっており、貧困・生活苦が特定の人たちに固定化されていることも分かりました。全員が労組に未加入であることも重要です。

23春闘大幅賃上げ要求は、来場者の願いと重なるもの当日来場者に対して実施した、物価高や生活改善要求に関するインタビュー（44人が協力）では、この間の物価高騰や生活苦を嘆く声がいくつも寄せられました。

「物価高で子どもに野菜を食べさせられません。それでも『今度ね』と叶わない約束をしてしまう自分に腹が立ちます。（40代女性・情報サービス業）」。「自営業で多額の税金がのしかかり、生活が厳しいです。電気代や食費があがったので、自転車で2駅移動し、安いものを買うに行くことで交通費を浮かせています。防衛費をあげるといいますがこれ以上税金をあげないでほしいです（40代女性・自営業）」。

「物価高で牛肉を買うのをやめました。トイペは質素なものにして、スーパーで買う品目を減らしました。児童扶養手当を引き上げてほしいです（30代女性・失業中）」。

今回の調査で、私たちの要求は、来場した未組織労働者の願いと重なることを浮き彫りすることができました。要求実現にむけてしっかり23春闘を闘うことが、未組織労働者＝将来の組合の仲間を励まし、仲間増やしの基礎をつくれます。大いに奮起していきましょう。

（東京地評 鎌田建）

「ルー随想 —ジェンダーを考える— 「仕事と育児」

田辺陽子(こうとう支部)

私は初めての子どもを産後8週間で、個人の保育ママに預け、職場復帰した。そうしなければ、仕事を続けることができなかった。職場復帰した日の朝、保育ママに抱かれた我が子は、本当に小さく、それだけで泣きたくなった。だが、後悔だけはしないぞ！と誓った。後悔したら、この子に申し訳ないと思った。そんな覚悟を持って復帰したが、仕事と育児の両立は、厳しいものだった。ワンオペとなる日も多かった。母親が子どもの面倒みるのが当然という、世間の無言の圧力を感じた。男性中心の社会の壁は厚かった。

子どもが一歳を迎える頃、やっと夕方の会議に夫と交代で出られるようになった。喜び勇んで出た会議で、「子どもは大丈夫なのか？」と聞かれる。夫が面倒をみている話をすると、周りの人は夫を褒めるのだ。当たり前なのが、受け入れられなかった。30年以上前の話だ。

日本のジェンダーギャップ指数は主要先進国で最下位だ。女性が元気で働き続けるための道は険しい。しかし、近年、毎日のようにジェンダー平等の記事が新聞の紙面に載り、労働組合の大会で掲げられるようになった。悔しい経験をした人たちが、ジェンダー差別に声を上げ続けたことが今に繋がっているのだ。

8週間で保育ママに預けられた我が子は、5月には父親になる。育児休業を2か月取るという。「らしさ」に惑わされず、自分の人生を自由に生きてほしい！

若い世代が、男女問わず、ジェンダー平等の声を上げ、行動する人の輪が広がっていくことこそが、希望だ。

あなたも労働相談員に！ 連続講座のご案内 主催 CU東京

CU東京は、結成以来、「働くものの駆け込み寺」として、個別労働紛争の相談・解決を活動の中心に取り組んできました。相談件数はこの間、年間400件を超え、取り組んできました。それでも、全都から寄せられる相談に応じていくには、さらに、相談員体制を強化し、今後の活動を展望したときに、今、その強化が求められていると考えています。

コロナ禍による業績悪化等を背景にトラブルが増えています。切実な労働相談対応の重要性は認識されていても、労働相談体制を作れない状況があります。

そこで、次世代につなげるため、今回、三多摩地域中心に、労働相談員講座を企画しました。労働基準法・労働契約法の基本的なルールや相談の多い労働時間・解雇等について、行います。

講師には、労働問題に詳しい弁護士・社会保険労務士など専門家や経験豊富な労組役員・相談員が担当し、実践的な内容をめざします。

講座は、労組・諸団体における労働相談員養成、また地域や職場・組合等で労働者の相談を受けておられる方々のスキルアップにも活用でき、地域で労働相談に対応する方や労働法など学びたいとの青年、学生等からの要望に応じていく連続講座です。相談にどう対応すればよいか、実践的経験を学びたい、そうした疑問にも応えられる講座にできればと思います。

どうぞ講座にふるってお申し込み下さい。

お申し込みは

CU東京三多摩協議会

電話・FAX 042-571-1166

携帯090-2247-1166

Email:cu3tama@abeam.ocn.ne.jp

CU東京15周年記念 小江戸川越散策

江戸の情緒を今に残し小江戸川越のレトロな町並みの、埼玉県川越市。歴史的建造物や文化財、美味しいグルメ。小江戸川越のレトロな町並みをご一緒に歩きませんか。



2023年2月9日(木)

■集合 12:00

西武新宿線本川越駅 改札口出たところ

主催 CU東京 女性会議

どなたでも参加できます

お申し込みは CU東京 電話 03-3946-9277

メール staff@cutokyo.jp

■CU東京は、2023年に結成15周年を迎えます。振り返りますと、前年はリーマンショック、日本では製造業はじめ、大規模な派遣切り、年末から年明けの「派遣村」に大きな衝撃が走りました。そんな中、2009年6月に結成しました。■コロナ禍、3年目を迎えました。報道される最多の死者数、ひき続き猛威です。政府の対策は後手後手。弱い立場の人に大きく影響しています。年末、東京地評のフードバンクに参加。仕事は減少、給与は上がりず、安いスーパーを利用していると言います。政府の最賃引き上げも極めて不十分です。財界の「賃上げ」会見も他人事です。今、闘いの時です。■CUは14支部、7支部が三桁（100人以上）です。15年の奮闘です。昨年、「相談に応えたい」、「地域の運動の火を消せない」と新しい支部結成が進んでいます。また、三多摩の「労働講座」は注目です。ぜひ、参加下さい。活動家、財政、事務所問題など難題は山積です。新たな展開のスタートの年にしましょう。